

毎年卒業道徳として担任に代わってこの時期に校長の私が3年生対象に道徳の授業を行っています。今回も卒業直前でしたが実施しました。



教材は道徳の教科書の34番目にある「手紙」です。歌手アンジェラ・アキの曲の歌詞の部分が教材です。「よりよく生きる喜び」の指導内容で、話し合いを進めました。

さすがに3年生。この時期は私の予想をはるかに超えた深い意見を語り出す子が何人もいました。

たとえば、歌詞の中に「自分の声信じ歩けばいい」というフレーズがありますが、「本当に自分の声って聞こえるの？」と意地悪な質問を私がすると、次のような発言が出ました。「自分のことは自分が一番わかっているのに、すぐには聞こえないかもしれないけれど、いつか見えてくる、聞こえてくると思う」「自分の声というのは自分の心、気持ち、考え方なので、信じていれば聞こえてくる。他に頼ってはいけません。」「私自身は今聞こえない状態にあるのかなあって思う。でも、そういう時って、時間が解決してくれることもあると思う。あまり悩みすぎるのもよくないし、自分を追い込むようなことをしてはいけない。」「自分から目を背けることは僕にとっては一番いやなこと。自分から逃げず、自分の声を感じることをしていきたい」など、自分を振り返ったり、自分の人生観の一部を語ったり。とても深く「悩みが生じたときの在り方」を考える時間となりました。

卒業式前日には表彰式がありました。「功労賞」「同窓会長賞」など規定に則って選定された受賞者に賞が授与されました。3か年欠席がない子に贈られる皆勤賞は23名もいました。おめでとうございます。

そして、突然のサプライズで、私の卒業式もしていただきました。役職定年の60歳となり、校長職を辞することを生徒は知っていたようで、卒業式の前日にわざわざ心のこもったメッセージの束をいただきました。

明日は晴れ！